

1週間に3回も台風が上陸し、観測史上初めての北海道の8月中盤の天気でした
有機栽培生産者、伊藤農園の手塩にかけた人参の収穫までのご案内です。
8月後半から収穫出荷を予定しています、出荷は全て土付です。表面の薄皮部分を大切にしたい彼のこだわりです。



耕す畝巾は一般の半分以下



馬力がいい、燃料効率が悪い



深く耕やかすトレンジャー

トレンジャーで、深さ70cm~80cmと深く畝作りをします。時速400mとゆっくりした速度で耕す巾も狭く根気のいる運転です。人参は根を深く伸ばす植物で一般的には深さ30cm程度の畝お越しです。耕作面積を狭くし、品質の良い人参作りを目指しています。



工夫された除草カルチ



長い畝を根気良く続ける



努力の賜物です

有機栽培の最大の課題は雑草との戦いです、各生産者は除草の器具にそれぞれの工夫を凝らしています。雑草が2cm以内で処理しないと器具が使えず、一気に勢力を拡大するそうです。小まめに管理車除草カルチを行います。株間は全て手で除草を行います。



美人ばかりではない



収穫されない人参



彼らも製品です

それでも真っ直ぐに伸びてくれた人参だけではありません、規格に外れた人参も多く畑に散乱します。是非この人参をジュース用で販売、惣菜や加工で活かして欲しいと思います。

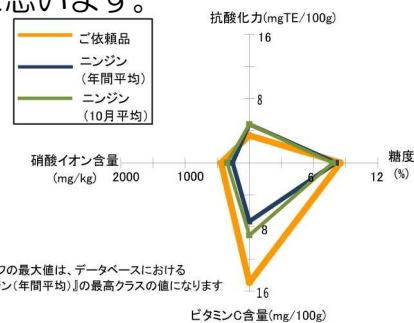
【伊藤農園紹介】 栽培耕地 10ha

夕張郡三川町にて有機栽培に取り組む 30年以上の実績のある生産者です

生産品目 ごぼう、人参、大根、南瓜、白菜、ヤーコン、ニンニクが有機栽培
長芋（除草にバーナーを使用し化学燃料を使用する関係で非認証）

生産特徴 自家堆肥と土壌分析を取り入れた土作り、野菜作り。
微生物と野菜の共存環境作りをテーマとしている

野菜特徴 北海道の環境を活かし、美味しい野菜を生産
大根、人参・・・重く、溶けない野菜、糖度が高く人参嫌いにも好評
ごぼう・・・アクが少なく、炊き上がりが早い
南瓜・・・昨年の南瓜評価会で「星沢幸子賞」を獲得、糖度が15.8度の
高い技術が評価された



※グラフの最大値は、データベースにおける『ニンジン(年間平均)』の最高クラスの値になります

ビタミンCが特に多い
糖度が比較的高い、硝酸値が高いのは雨がかった事が影響
デザイナーツ測定による

※今後もファーマーズクラブのメンバーの紹介をいたします